

長野県水素利活用検討プロジェクトチームについて

令和6年4月
長野県産業労働部産業政策課

1 目的

- ・カーボンニュートラルの実現に向け、水素の利活用は今後益々重要性を増していくことが見込まれる。
- ・現時点では輸入された水素の利活用が一般的になると見込まれており、内陸県である長野県では、この点が普及のボトルネックとなることが懸念される。
- ・将来的には水素利活用の環境が立地競争力の分水嶺となることも想定し、長野県での水素利活用の課題解決に向け、関係者間で検討を行うべく、本プロジェクトチームを設置することとする。

2 スケジュール及び議題（予定）

4月18日	第1回 － 長野県内における水素利活用の現状と課題（長野県） － 国の動向（関東経済産業局）
5月下旬	第2回 － 産業界からのプレゼンテーション
7月	第3回 － 産業界からのプレゼンテーション － 中間報告（案）（骨子）について（長野県）
8月下旬	第4回 － 中間報告（案）（本文）について（長野県）
秋頃	産業イノベーション推進本部会議（中間報告・推進方針について報告）

3 メンバー

別紙のとおり

長野県産業イノベーション推進協議会
 長野県水素利活用検討プロジェクトチーム会議 名簿

(敬称略/順不同)

所属(役職)		氏名	備考
国立大学法人信州大学	副理事・教授 学術研究・産学官連携推進機構 学術研究支援本部長	杉原 伸宏	
オリオン機械株式会社	専務取締役 技術開発本部長 技術研究所所長	片桐 智美	
日置電機株式会社	経営企画室 主幹	水出 博司	
千代田化工建設株式会社	地球環境プロジェクト事業本部 O&M-Xソリューション事業部 部長補佐	小木曾 良治	
経済産業省	関東経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進課 課長	白戸 恒彦	
長野県	産業労働部長	田中 達也	
長野県	産業労働部 産業政策課長	木下 育夫	
長野県	産業労働部 参事兼産業技術課長	倉島 浩	

ご議論いただきたいこと（プロジェクトチーム会議の進め方）

- 今後、国内のみならず世界的にも水素利活用スピードが加速化することが見込まれ、こうした変化に県内企業が対応していくため、あらゆる論点の漏れがないよう、検討を進めていくことが必要。
- そのため、まずは①水素利活用に関する県内企業のニーズやポテンシャルを調査しつつ、②国内外の動向を注視し、内陸部においても持続可能性のある水素の供給体制等について、関係者へのヒアリングや委託調査の成果を踏まえて課題を整理することとしたい。
- その後、水素を軸に供給と利活用の両面で長野県が取るべき方策の方向性についてご議論いただき、今秋を目途に中間報告を取りまとめたうえで、後年度における具体的な施策検討に移行する、という形で進めることとしたい。

水素利活用に向けた外部環境の動向や県内企業のニーズ把握
企業ヒアリングや委託調査事業の結果のフィードバック

水素利活用検討プロジェクトチーム会議での議論

中間報告取りまとめ（本年秋季予定）

今後の施策検討開始